

テーマ	【授業デモ・講演】 Say It in English 「英語で言ってみよう」				
対象	小・中・高	使用言語	日本語	所要時間	90分程度
<p>概要</p> <p>近年、ライティング活動への注目が高まっていますが、生徒の語数が伸びず、指導が頓挫しているという話もよく聞きます。言いたいことはあるけれど、それがなかなか英語で出てこない。英語で言えない単語がありすぎてお手上げということもあるのではないかと思います。しかし、実際には、身の回りのたいていのことは、案外限られた文法知識や語彙で表現できるものです。本講演では、90分程度で、心に浮かんだことを自由に英語で表現するスキルを指導する手順をご紹介します。これは、アウトプット活動を展開する上で非常に重要です。時間やテーマを与えるだけでは生徒は書いたり話したりできるようにはなりません。アウトプット活動をする以前の準備が必要なのです。</p> <p>先生方にワークショップ形式で提供することもできますし、会場に仮の教室を設営していただき、中学生または高校生を生徒として配置していただければ、デモンストレーション授業として実際にお見せすることも可能です。小学校の先生方が対象の場合は、ご自身のアウトプット能力を高める講座としてもご利用いただけます。</p>					
講師	内田浩樹				
<p>講師略歴</p> <p>内田浩樹（うちだ・ひろき）南山大学文学部卒、南山大学大学院外国語学研究科修了。愛知県立半田（はんだ）商業高等学校教諭、名古屋短期大学専任講師、鳥取環境大学准教授などを経て、現在、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科研究科長・専攻長、英語教育実践領域代表・教授。専門は、英語教師教育、英語教育プログラム開発、教材開発、語彙指導など。著書は「つむぐ英単語（河合出版）」、「PLAY! 拼装英単語（笛藤出版・台湾）」、「英単語メモリー（Jリサーチ出版）」など。また、「国際教養大学・内田浩樹教授のライブ授業シリーズ」（ジャパンライム）等を通じて授業実践をDVDで発信している。</p>					